

審判講習会報告書

女性指名強化普及審判講習会		責任者: 竹澤 友美			
日時	2014年 12月 7日 (日)				
	9時 00分 ~ 17時 30分				
場所	埼玉県立 浦和商業高等学校				
講師名	小池氏(審査委員会) 山崎氏 伊藤氏 小柳氏 竹澤 (指導委員)				
講習会名	女性指名強化普及審判講習会 (年間行事に追加して開催)				
対象者	日本公認	8人	県公認	0人	未公認 0人 計 8人
開閉講式	開講式	有		閉講式	有
報告事項(講義の内容、講習会形式等)					
○開講式					
伊藤氏: 今日は選手もベンチも様々チャレンジする位置付けの交流戦であると思う。ファウルの数や重要な時間帯や点差など、普段のゲームでは1つの判定が難しくなる場面は少なくなると思うので、思い切ってチャレンジして欲しい。考え込んで判定を飲み込んだり悩んだまま終わるのではなく、素直に判定したくさんのことを得られたら良い					
○実践講習					
参加チーム: メディセオ・三井住友・丸紅・専修大学・玉川大学・法政大学・大東文化大学・立教大学					
					
小池氏による講評		伊藤氏による実技		小柳氏による実技	
○閉講式					
山崎氏: 笛を吹くことで選手の邪魔をすることがあってはならない。ゲーム、選手のレベルにあった判定ができるように、1つの判定を吟味し悩みながら吹いていくことで向上することができる					
特記事項、要望等					
<p>年度当初の予定にはないが追加講習会として行った。レベルの高い女子ゲームであり、スピードの速い展開の中で、選手の心理、意図や質、戦術や技術の理解が求められた。大学生以上のゲームを吹く経験が少ない審判員も多いことから、今回は県内上級と一緒に割当てた。同じ試合を一緒に吹くことで、同じ時に同じものを見て、吹く/吹かないの判定の中身、自分の視野に入っていたかいないか、Playの捉え方や考え方など、たくさんものを感じてもらえたら良い。今年度から指名強化普及審判員が増え、それぞれ県内での割当てが変化していく中で、悩みながらコートに立っていることを感じる。今日は交流戦ということで、吹く判定に積極的だったように思うが、チャレンジしたからこそ得られた経験を次につなげてほしい。今回の講習会は普段なかなか吹くことのできないカテゴリーのゲームを吹く貴重な機会であり、その中で自分の課題がより明確になったことで、今後の活動を良い方向へ進めるきっかけとなってくれたと感じている。</p> <p>最後になりますがお忙しい中、貴重なお時間を使ってご指導いただきました講師の皆様にご感謝申し上げます。また、この度は(株)メディセオ関係者の皆様から多大なご配慮をいただき、交流戦を講習会とさせていただきます。貴重な機会をご提供いただきましてありがとうございました。</p>					